

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第6号）のトピックス

- 48週(11月28日～12月4日)のインフルエンザ患者報告数は 1,160人、
 定点当たり 2.79人（昨年同期 定点当たり 0.18人）
- 48週のインフルエンザ様疾患による集団感染等の報告は 31件
- 沖縄でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が10人を超える

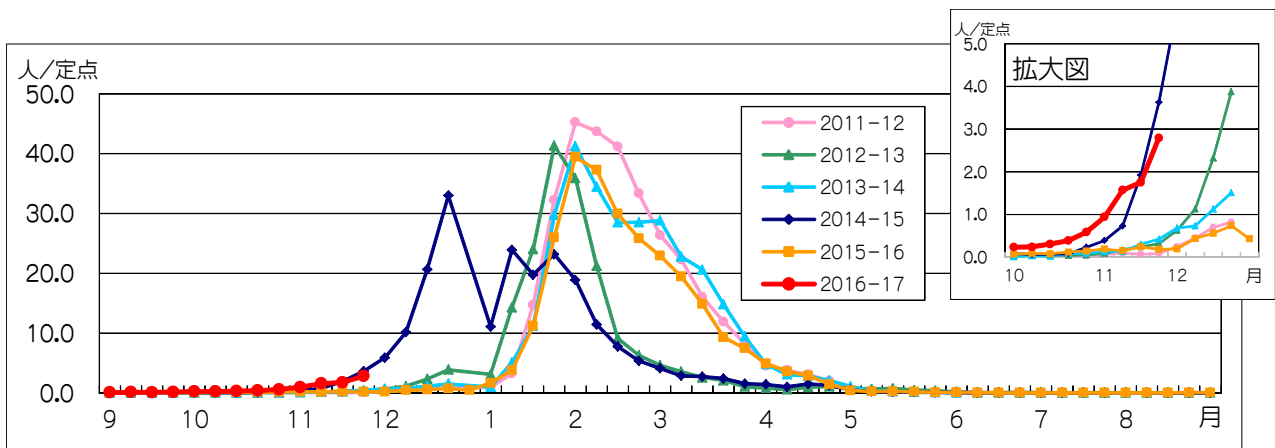


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移（東京都）

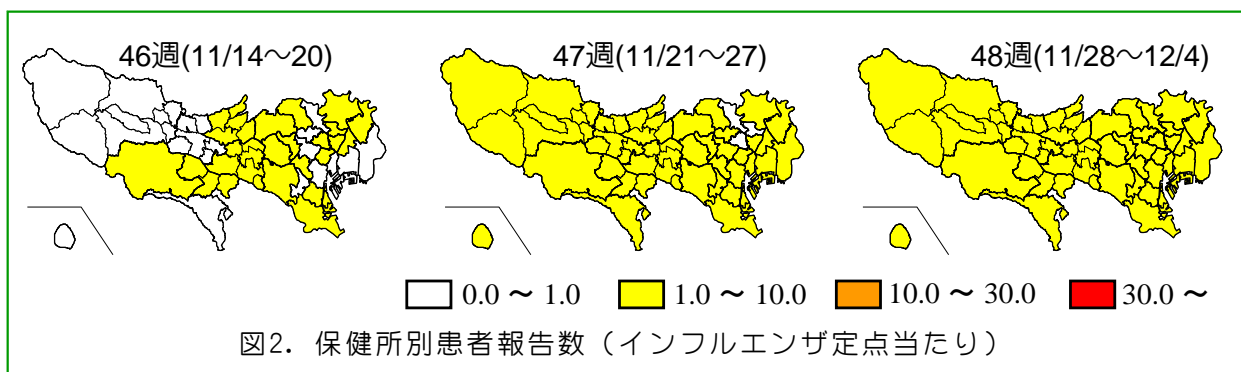


図2. 保健所別患者報告数（インフルエンザ定点当たり）

1 インフルエンザ患者発生状況 第48週（11月28日～12月4日）

【東京都】インフルエンザ定点*からの患者報告数は 1,160人、定点当たり 2.79人と先週（1.75人/定点）から増加しました（図1）。千代田（8.25人/定点）、世田谷（5.16人/定点）、中央区（4.60人/定点）をはじめとするすべての保健所管内で流行の目安となる定点当たりの患者報告数1人を超えています（図2）。

【全国】患者報告数は 12,334人、定点当たり2.49人です。全国も先週（1.79人/定点）から増加しました。沖縄（10.33人/定点）、栃木（7.53人/定点）、岩手（6.22人/定点）をはじめとする37都道府県で定点当たりの報告数が1人を超えています（図3）。

* インフルエンザ定点
419か所（全国約5,000か所）の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

** 基幹定点
25か所（全国約500か所）の医療機関を「基幹定点」として指定しています。

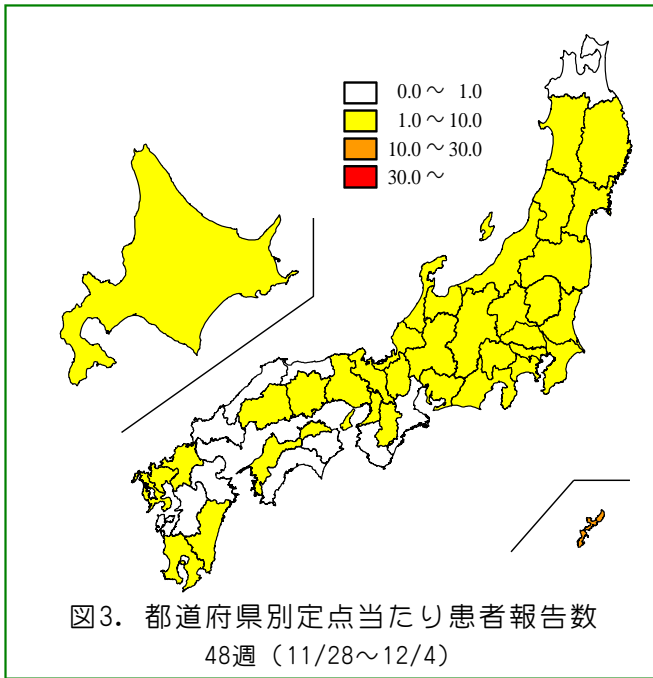


図3. 都道府県別定点当たり患者報告数
48週 (11/28~12/4)

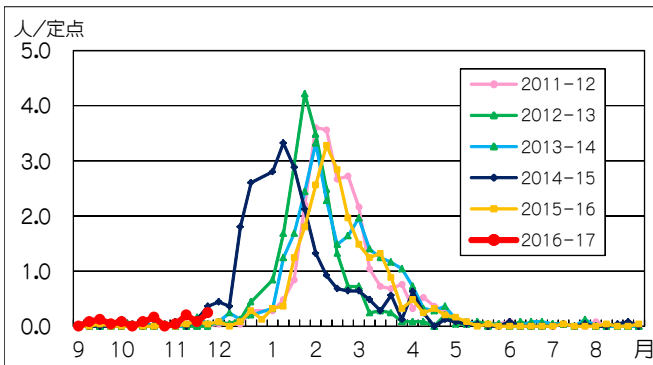


図4. インフルエンザ入院患者発生状況

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1pdm09	AH3	B
36-44週(9/5-11/06)	17	8	1	7	0
45週(11/7-13)	6	5		5	
46週(11/14-20)	8	5		5	
合計			1	17	

*インフルエンザ情報発行時点で検査結果が判明したものを掲載

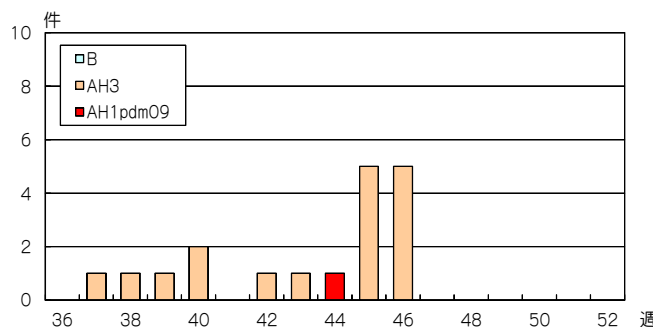


図5. インフルエンザウイルス検出数
(定点医療機関から搬入された検体)

2 インフルエンザ集団感染等発生状況

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等及び集団事例が48週に31件(内訳; 保育所3、幼稚園2、小学校13、中学校10、高校2、社会福祉施設1)報告されました。

3 インフルエンザ入院患者発生状況

基幹定点**から48週に6件(0.24人/定点)の報告がありました(図4)。

4 東京都の検査情報

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から46週にAH3亜型が5件検出されました(表1、図5)。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、12月8日までに、16都道府県からAH1pdm09、34都道府県からAH3亜型、4都県からB型が報告されています。

ワクチン・治療薬等の供給状況

ア. インフルエンザワクチン

今シーズンの供給予定量(平成28年6月現在)
5,504万回分(約2,752万本)

*1回分は、健康成人の1人分の接種量に相当します。

イ. 抗インフルエンザウイルス薬

今シーズンの供給予定量(平成28年9月末現在)

【1】タミフル(一般名:オセルタミビルリン酸塩
中外製薬) 約737万人分

*タミフルカプセル75及びタミフルドライシロップ
3%の合計

【2】リレンザ(一般名:ザナミビル水和物 グラクソ・スミスクライン) 約282万人分

【3】ラビアクタ(一般名:ペラミビル水和物 塩野義製薬) 約79万人分

【4】イナビル(一般名:ラニナミビルオクタン酸エステル水和物 第一三共) 約690万人分

ウ. インフルエンザ抗原検出キット(迅速タイプ)

今シーズンの供給予定量 約2,733万人分

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/